



# 水の文化 都市の 農業



## ミツカン水の文化センター

表紙上：EM農法で土づくりに力を入れている、東京・立川市の鈴木農園の直売所。(天然酵母パンとカフェ ゼルコバ) を始めてから、直売所も口コミで大人気。次々と栽培にチャレンジしている品種の選定は、長男の富善さんが担当している。

表紙下：都市圏シニアの情熱が農業に向かっている。栽培自体の楽しさもあるが、仲間と一緒に汗を流すことも魅力の一つ。

裏表紙上：住宅に隣接している都市農地。農業への関心と理解は、おいしい野菜を食べ、つくっている人と顔見知りになることで、育まれるのではないかと。

裏表紙下右：農地に制約されない農産物栽培を開拓した植物工場。人工光の波長の調整も、開発にとって重要な要素だ。

裏表紙下左：江戸東京野菜栽培の達人、東京・小金井市の井上誠一さん。栽培にはハウスを活用し、江戸東京野菜の繊細な性質に対応している。



編集部「都市農業の現在」  
 甲斐良治「都市的農業の時代」  
 牧野征一郎「新鮮・高品質が拓く東京野菜の未来」  
 内田雄二「江戸東京野菜でまち興し」  
 鈴木英次郎「家族で六次産業化」  
 小泉 勝「命のバトンを練馬でつなぐ」  
 古在豊樹「植物工場の可能性 ハイテク技術の農的活用」  
 飯田 洋「都市と里山・里海をつなぐ千葉自然学校」  
 水落重喜「共同経営でかなえた儲かる農家モデルと循環システム」  
 古賀邦雄「水の文化書誌 児童文学にみる農業用水開削の偉業」  
 沖 大幹「わたしの里川 ― 里川幻想揺籃」  
 坂本貴啓「Go! Go! 109水系 145のしずくがつくる旭川」

水の文化  
2014  
46

水の文化 February 2014 No. **46**



# 農業